

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	登録等狂犬病予防事業			会計	款	項目	大専	小専	
				01	04	01	04	07	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策課				
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	犬を飼っている市民	意図	未登録犬の登録の促進及び年1回の狂犬病予防接種の接種率向上。
事業内容	狂犬病法に基づき事業を実施。犬の適正管理を行う為、登録鑑札の交付等を実施する。毎年4月には狂犬病の集団予防接種の実施の案内を送付し、接種の促進を図っている。また、獣医師会と契約を締結し、登録指導促進を促している。			
事業開始から現在までの状況変化	狂犬病予防法に基づき事業を実施。法施行当初は年2回狂犬病予防接種が義務付けられたが、現在は1回のみ。集合注射については、昭和62年に千葉県狂犬病予防等事務執行要綱が施行されたことから実施。日本では、狂犬病の発症例はないが、未登録犬の動きが掴めないことから未登録犬の登録を促し、予防接種の接種率の向上を図る。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	集合注射実施会場数	26	25	26	箇所	→→
②	登録犬	8,289	8,221	8,336	犬	↗↗	
③	捕獲犬告示	6	10	9	件	↘↘	
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットを飼う人の増加に伴い未登録者に対する指導促進及び飼育者のマナー啓発を図っている。 ・登録促進対策として平成12年度より千葉県獣医師会へ登録促進業務を委託している。 また、登録犬台帳の電算化による事務の効率化を図るとともに迅速な対応に努めている 		

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	10,450,267	10,464,955	10,393,182
事業費(b)(円)	3,239,267	3,376,355	3,344,582
うち一般財源	△2,540,923	△2,342,325	△2,428,868
職員給与費(c)(円)	7,211,000	7,088,600	7,048,600
人役・職員(人)	0.80	0.80	0.80
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	1.00	1.00	1.00
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	未登録書に対する指導促進及び飼育者のマナー啓発。周知方法、集合注射の開催日程等の見直し。	③取組における課題(Check)	手数料支払い事務の確認。
②H30に実施した取組(Do)	獣医師会と連携し、未登録者への指導促進を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	手数料の取り扱い方法を担当職員全員がマニュアル通り行っているか、定期的に確認をする。